

自民党「第15回ジェネリック医薬品の将来を考える会」について ～ GE薬協 高田会長、澤井副会長が参加（2月17日開催）



（前方左：事務局長・山田 美樹 衆議院議員、前方右：会長・上川 陽子 衆議院議員）

2023年2月17日（金）、自民党の議員連盟「ジェネリック医薬品の将来を考える会」（会長：上川陽子 衆議院議員）が開催されました。

参加した議員からは、安定供給問題に関する「現場の厳しい実情」「在庫が見える化をさせる仕組みの必要性」「医療・保険DXへの期待」「薬価の毎年改定の影響」「流通においてジェネリック医薬品が調整弁になって価格が下げられている現状への受止め」「原薬の国内製造を見据えた海外事例」等について意見や質問が出ました。

また、業界団体に対しては、毎年改定が決定された際の4大臣合意で基本とされた4要素（「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、国民が恩恵を受ける「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」）への認識を問う声も出ました。

これに対して、GE薬協の高田会長からは、GE薬協としても現在、ジェネリック医薬品のビジネスモデル、産業構造について、質の確保、安定供給等を通じて、国民医療に貢献できる会社、しっかり対応

出来る体質にしていかなければならないと考え、取組んでいる旨の説明がありました。

今回は、「産業構造の在り方」について具体的な意見は出ませんでした。参加した議員から「業界の構造について、どうあるべきかとの意見については我々もしっかりと提言していかなければならない」等の声もあがり、本議連では、有識者検討会での議論を踏まえながら、ジェネリック医薬品の位置付けや構造的課題に関してのあるべき方向性を検討し、「骨太の方針2023」を見据えた提言をまとめることを目指すとしています。

(取材：日本ジェネリック製薬協会 広報委員会)

(GE薬協レポート)

https://www.jga.gr.jp/news/230217_005027.html

(会長挨拶)

日本ジェネリック製薬協会 会長

高田 浩樹 氏

<https://www.jga.gr.jp/information.html>

(リンクページ：業界に関わる審議会情報)

医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会

経済財政諮問会議ほか

<https://www.jga.gr.jp/link.html>